

日本のプロサッカーコーチにおけるメンタルヘルスの探索的研究：現状とシーズン内変化

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-11-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 澁川, 賢一 メールアドレス: 所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2003746

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 125 号

日本のプロサッカーコーチにおけるメンタルヘルスの探索的研究：現状とシーズン内変化

(An exploratory study of mental health in Japanese professional soccer coaches: Current conditions and in-season changes)

澁川 賢一 (しぶかわ けんいち)

博士 (スポーツ健康科学)

論文審査結果の要旨

【研究目的の特徴・独創性・論理性】

本研究は、日本のプロサッカーコーチのメンタルヘルスの現状（横断研究）とシーズン内変化（縦断研究）を明らかにしようとした点に特徴と独創性が認められる。日本のプロサッカーコーチの雇用形態等を踏まえて、彼らのメンタルヘルスについて着目した点に新規性がある。当該領域の文献を丁寧にレビューした上で、先行研究での課題を明確にし、研究意義を踏まえて提案されており論理性が認められる。

【研究方法の妥当性】

横断研究と縦断研究デザインを用いている。想定される母集団を考慮すると、抽出された標本のサンプルサイズは小さいが、得られたサンプルサイズで行える統計分析手法を採用している。そのため、結果の解釈に一定の限界は生じるものの妥当性が認められる。研究方法の記述についても追試可能な情報が過不足なく記載され、倫理的配慮等についても適切に記載されている。

【結果・知見の新しさ】

プロのサッカーコーチが「自分のパフォーマンス」や「指導者間の対人関係」などのストレスを抱え、これらがメンタルヘルスと関連すること（横断研究）、シーズンを通してメンタルヘルスが不良な者がいること（縦断研究）を学術的に明らかにした点に知見の新しさが認められる。しかし、コーチの権限、競技レベル、選手の年齢等の統制に課題が残っており、これらについては今後改善が期待される。

【考察および結論の妥当性】

サッカーコーチを取り巻く環境や彼らのメンタルヘルスに関する先行研究を体系的にまとめ、得られた結果からサッカーコーチのメンタルヘルスについて考察を展開している。研究の限界を踏まえた上で考察がなされ、結論も結果に示されたエビデンスから示されている。これらのことから、考察および結論の妥当性は担保されていると思われる。

【研究の当該分野における位置づけ】

サッカーコーチのメンタルヘルスの現状とシーズン内の変化を明らかにした。これらの知見は、サッカーコーチへの心理的サポートを実施する際に、適切な対応方法を考える上で有益な情報を提供するものである。アスリートの健全なスポーツ活動を支える研究として、本研究はスポーツ健康科学領域において重要な知見の一つと位置づけられる。

【質疑に対する応答の適切性】

主査と副査からの研究内容に関する質疑に対して、誠実かつ論理的に応答していた。応答は質問の意図から外れることなく応答できており、研究内容に関する知識を十分に有していることも確認された。質疑に対する応答から、本研究結果から主張できること、できないことを理解していることが確認できた。これらのことから、質疑に対する応答の適切性が認められた。

【論文審査の結果】

当該論文は、サッカーコーチのメンタルヘルスの現状（横断研究）とシーズン内変化（縦断研究）を明らかにしたものであり、博士論文として新規性のある論文と認められる。研究内容の発表と口頭試問による審査を通じて、本論文は博士号に相当する内容であると判断し、博士論文発表会（最終試験）において発表を「可」と判断した。なお、旧研究題目は、本研究内容を超える表現であり、研究内容を適切に反映する題目に修正するよう審査会にて指摘されたため、その修正の指示に従って題目の変更を行った。